

学校だより 5月号

令和5年5月25日(木)

「誇・光・力」錦江中!



精神的な自立を ~稚心を去れ~

校長 平國 弘明

17日は、鹿屋西原競技場で、第56回肝属地区中学校陸上競技大会があった。出場の選手、役員は非常にながらんでいた。誇りに思う。本年度より地区や県の総体、中学校総合体育大会へのクラブチームからの参加も認められることになった。この地区総体等の大会名には、必ず「中学校」と入り、〇〇(ここに競技名)大会と続く。つまりは中学校名を背負い、学校を代表して試合をするということである。クラブチームの場合であっても各学校長の出場許可がある。本校の生徒だという証明があって初めて出場が可能となる。これから行われる競技に参加する生徒は、その自覚をもって、自分の力に加え、学校の名を背負う、学校の名誉のためという思いも力にし、学校や友人からのエールを受け取り、自分が持てる以上のものを是非とも発揮してもらいたい。何かを背負って闘うということは、自分の成長ももたらしてくれるものでもある。そういうことを考えると、今回の陸上大会に参加すべきだった生徒はもっといたのではないかと考えている。次の機会、来年の大会には、是非、参加しよう。

また、13日、土曜日は、残念だった。遠行を予定通り行えなかったからだ。雨の中を長い時間歩くのは、1年生にとっては、さすがに厳しかろうと判断した。雨による遠行の延期(11月の第2土曜日へ)は仕方ないとして、もう1つ「残念」と感じたことがあった。それは、この日、車で送ってもらった生徒の多さにである。「送り迎え」で通学している生徒は統計上、本校にはいないことになっている。バス通生を除いた徒歩通学生は本校の65%であり、約80名に上る。だが、先週の土曜日はなんと25%程度の人しか、歩いて来なかったと思われる。雨の日など送ってもらうのが、当たり前と思っている生徒もいるのではないだろうか。個人的にその生徒の将来が、非常に心配である。なぜか?体力や脚力の面だけではない。精神的に自立しておらず、親に頼りすぎではないかと感じるからだ。送ってもらえば、「ぬれない」「楽である」。「14歳からの『啓発録』」の著者、瀬戸謙介さんは、その本の中で、

「稚心(ちしん)とは、幼く未熟な心のことで、何事につけても楽をしようといった甘え心のことをいいます。果物や野菜などがまだ十分に熟していないもの稚(まだ青い)と言います。これらすべてにおいて青くさく、物の熟した本当のおいしさに達していません。何事につけてもこの、青くさく「稚心」から抜け出さない限り成功することは望めません。両親の目を盗み、マンガ、携帯メール、コンピューターゲームなどの遊びに夢中になり、身体を動かさず、勉強もせず、スナック菓子やケーキなどの甘い物ばかりを食べ、バランスのよい食事を摂らず、勉強もせず怠けてぶらぶら遊んでばかりいる。また、自分に都合の悪いことは全て他人のせいにし、言い訳ばかりを言う。親に対する依頼心が強く、少しでも困ったことがあると親に助けを求めなんとかしてくれと思う心、これらはすべて稚心の青くさい心が原因です。(中略)まずは甘え心「稚心」を取り去り本気で立ち向かっていかなければ願いが叶うことは到底あり得ません。稚心を取り除かなければいつまでも大人になれず、人々から軽蔑されます。大人になる第一歩として稚心を取り去ることが立派な大人の仲間入りをする出発点なのです。」と述べていらっしゃる。どう感じただろうか。

車で送ってもらうことだけでなく、甘えた言葉や行動をなくしていくことが、自立のために必要であり、他人に頼りすぎない、一人前と認められる人に近づくことにもなる。また、これから先、「一人前と認められていようがいまい」が、高校や大学を卒業し、職につけば、職場の一員として扱われると同時に、従業員や職員として、お客や利用者等からも様々な相談や依頼が来る。場合によっては、苦情や文句を強い口調で言うてくる人もいよう。しかし、そんな場合でも対応しなくては行けない。近い将来、そのような立場になる。繰り返しになるが、「いつまでも親に頼る」「甘える」を捨て、自立を目指して行動を始めよう。雨の朝、「送ろうか」と言われるかもしれない。そこで、ぐっとこらえて、「ありがとう。自分で歩いて行くから大丈夫だよ。」と応える。これまでとは、少し違う自分がそこにいる。甘えをなくし、いつまでも幼稚だと馬鹿にされない、自立した人に早くなってもらいたい。

【自立の指標例】

- 1 自分で起きる。
- 2 自力登校する。
- 3 決めた時間だけメディアを利用する。
- 4 親から言われず、自分から勉強を始める。

【新 PTA 役員紹介】

2日(火)に PTA 総会が行われ, 新役員が承認されましたので紹介します。(敬称略)

役員(総務部)

会 長 福岡 真治
副会長 伊井 百香 川崎 淳也 下窪 秀治
会 計 前田 駿兵
書 記 岩下 亜衣未
教 務 湯地 洋明
監 事 城下 輝明 馬込 正則
顧 問 平國 弘明

専門部

	部 長	副部長
研 修 部	谷口 博紀	祝 大介
事 業 部	福岡 健作	今隈 幸洋
生活指導部	鳥井ヶ原 宣義	土岩 英明
保健体育部	中野 和徳	宮脇 崇宏

学級委員

1-1	久保 るみ子
	河野 梨香
2-1	平原 甲輔
	土岐 絵利香
2-2	常川 理恵
	安水 さつき
3-1	梶 雅之
	柳田 太樹

地区役員

	委員長
馬場地区	内園 尚典
城元地区	井手 理香
神川地区	竹内 大介
宿利原地区	永山 耕太郎
池田地区	篠崎 勝行

一年間お世話になります。よろしくお願ひします。

【PTA 専門部会のお知らせ】

日時 6月8日(木) 19:00~

場所 錦江中学校 各教室(2F)

研修部 1-1 事業部 2-1

生活部 3-1 保体部 2-2

内容 ・年間活動計画について

・その他

入賞おめでとう

地区陸上競技大会

2年女子 100m 6位 2年
共通女子 200m 3位 2年
共通女子 走幅跳 5位 2年
低学年男子 100mH 7位 2年
共通男子 110mH 5位 3年
共通男子 走高跳 7位 3年

第 41 回中学校招待野球大崎大会

3位 野球部(錦江中・根占中・田代中合同)

タマネギ収穫

5月8日に2年生が, 昨年度技術の時間に植えたタマネギの収穫をしました。たくさん取れましたので, 袋に詰め, 全校生徒が持って帰りました。



避難訓練 (地震)

5月19日(金)午後, 地震・津波を想定した避難訓練を行いました。南海トラフ地震が発生した, という想定で, 生徒は校庭に一次避難し, その後津波に備えて河上神社まで徒歩で二次避難を行いました。

訓練には南部消防署から3名の消防隊員にお越しいただき, 避難先の河上神社で避難の様子についての指導や, 実際に地震が発生したときに注意すべきこと等についてお話いただきました。

自然災害はいつ発生するかわかりません。実際に発生した時, 訓練の時に行ったとおり冷静に行動できるよう, 常に備えておきたいものです。



学級紹介

本年度の1年から3年の4学級を紹介します。それぞれの学級総務さんが紹介してくれます。

1年1組紹介 生徒数42名 学級担任 岩下先生

私たちの学級のいいところは、当たり前なのが当たり前にできることです。課題は忘れ物をなくすこと。また、ONとOFFの切り替えをしっかりしたいです。

学級目標はまだ決まっていますが、私は、自分で進んで行動できたり、互いの気持ちを理解し合えたりすることが大切だと思っています。また、みんなをまとめられる総務になっていいクラスにしたいです。

2年1組紹介 生徒数24名 学級担任 入佐先生

私たちの学級は、いつもみんな元気なのが、よいところです。ときどきにぎやかになり過ぎるところが課題です。時と場合を考えて、メリハリをつけて過ごせる学級を目指しています。学級目標は、「We can do it!! ~自分を信じて~」です。これを達成するために、積極的に自分の意見を言えるようになります。総務、副総務で、目指す学級を作り上げていくために、注意喚起を行っていきます。

2年2組紹介 生徒数23名 学級担任 橋口先生

私たちの学級のいいところは、元気でメリハリのあるところです。課題としては、忘れ物やうっかりミスなど落ち着きもう少し欲しいです。いじめがなく、みんなが楽しめる学級を目指しています。笑顔で楽しい2年2組になるといいです。学級目標は、「喜色満面(きしよくまんめん)」です。私は、この目標達成を目指して、みんなをもとめていきたいと思います。

3年1組紹介 生徒数32名 学級担任 川路先生

みなさんこんにちは。私たちの学級は「立ち上がり! 32名! ~みんなで咲かせる個性の花から」をモットーに学級の協調と第一志望全員合格を目指して、明るく楽しくがんばっています。そのために、当たり前のことを当たり前のように過ごします。私たち、総務、副総務が率先して行動することが重要になると考えています。さらには、当たり前のことができるだけでなく、1人ひとりの個性が輝くそんなクラスを目指します。

地域のみなさん、そんな私たちへの応援をよろしくお願いします。

部活動紹介

本校には、現在、7つの部活動があります。現キャプテンがそれぞれを紹介します。

男子バスケットボール部

部員数12名(1年7, 2年2, 3年3) 顧問:岩下先生, 福元先生 外部コーチ:南園さん

私たちバスケットボール部は、新入部員が入るまで、わずか5人で活動してきました。5人ということは、試合にフルに出る(出ずっぱり)ということになります。ですから、どんなにきつくても、すぐにはあきらめず、前に進むのが錦江中バスケット部のいいところです。一方、課題もあります。それは、試合中に声が出ていないところです。声が少ないと他のチームに負ける上、弱く見えます。なので声出しだけでも強く見えるチームを目指します。もうすぐ地区総体です。私たちにとって、最後の大会です。みんなが思いで残る楽しい試合をしたいです。また、新チームになって1勝もしていないので、1勝し、有終の美を飾りたいです。でも、練習をせず、口だけだったら、そのことは叶いません。しっかり練習を重ね、それらをすべて出し切る覚悟です。

キャプテンとして、手を抜かず、声を一番だし、みんなを引っ張っていきます。

第16代男子バスケットボール部キャプテン 3年

サッカー部 部員数9名(1年2, 2年4, 3年2) 顧問:松角先生, 梶尾先生

私たちサッカー部は、3年生2名、2年生4名、1年生2名の計8名で活動しています。チーム一丸となり1つの目標に、全力で取り組むところがサッカー部のいいところです。ただ、人数が少ないため、錦江中サッカー部だけで試合に参加できないことが、残念なところです。部員が増えて錦江中サッカー部として単独で試合に出場することが望みではありますが、現在の合同チームで練習できていることは、私たちにとって色々な経験が積める大切な場となっています。合同チームのメンバーと共に、1試合でも多く勝てるようになりたいです。そのためには、日々の部活の中で、それぞれがスキルアップできるよう、練習に励むことが必要です。僅かな時間でもボールに触れて、チームのみんなを引っ張っていけるように頑張りたいと思います。

第16代サッカー部キャプテン 3年

野球部 部員数10名(1年6, 2年3, 3年1) 顧問:川路先生, 下窪教頭先生

私たち野球部のいいところは、いつでも声を出し、ミスをカバーし合えるところです。しかし、チャンスで、点が取れなかったり、エラーのあるところが課題です。1人1人が自信をもち、当たり前のことが当たり前に出るチームを目指しています。チームの目標は、県総体に出場することです。そのために、日々の練習を大事にして、エラーをなくし、確実に勝てるようにしたいです。困った後輩を見つけたら、わかりやすく教え、みんながやるべきことを理解して、野球に臨めるようにすることが私の役目だと思っています。

第16代野球部キャプテン 3年

剣道部 部員数3名(2年3) 顧問:湯地先生 外部コーチ:桑原さん

いいところは、あいさつができ、礼儀正しいところです。今以上にあいさつができ、礼儀正しく、大きな声で返事ができるチームを目指しています。チームの目標は、一戦必勝です。3名なので、1人でも負ければ、チームの負けになります。予選リーグを勝ち抜ければ最高です。このために、1人1人が体力をつける、集中力を高めることに取り組みます。自分自身に役割は、チームを鼓舞することです。

第16代剣道部主将 2年

女子卓球部 部員数13名(1年7, 2年2, 3年4) 顧問:入佐先生 外部コーチ:川越さん

私たち卓球部のいいところは、仲の良さです。もう少し、練習を頑張ることが課題です。また、明るくプレーができれば、さらにいいと思っています。地区総体での目標は、2, 3年生は全員が個人でベスト16以内に入る。団体戦では、決勝戦に進むことです。最低でも団体は3位、個人戦では2人がベスト8に入りたいです。1年生は、個人戦で初戦突破を目指します。これらの目標を突破するために、基礎練習をしっかりと、一本一本集中して練習していきます。そのために、私は、みんなに様々なアドバイスを、個々のレベルアップを図っていききたいと思います。

第16代女子卓球部キャプテン 3年

女子バレーボール部 部員数8名(2年5, 3年3) 顧問:山下先生, 徳留先生

私たちの良さは、どんなときでも、明るく、くじけず、自分たちで盛り上げることができることです。ただ、連続失点したときに、切替がすぐにできず、相手にのまれてしまうところがあります。ここは改善すべき点です。去年のチームのように、元気よく、さわやかで、最後まで諦めずにプレーできるチームでありたいです。地区総体の目標は、やはり県総体に行くこと。ベスト8には必ず入りたいです。そのために、技術面では、サーブカットをしっかりとすること、とにかくボールをつなぐことを高めていきます。また、ミスがあった際に、気持ちの切替ができる言葉を発するようにします。諦めずに声を出し続けることにも取り組みます。私はキャプテンとして、チームのムードが下がったときに、前向きな声をかけ、1人1人に寄り添い、どんな場面になってもくじけず、明るく、チームを引っ張っていきます。

第16代女子バレーボール部キャプテン 3年

女子ソフトテニス部 部員数12名(1年5, 2年5, 3年3) 顧問:橋口先生, 二宮先生

私たちソフトテニス部は、学年関係なく、みんな仲が良く、練習に一生懸命取り組むことができます。大きな声で返事をする、準備や片付けをみんなで素早く協力して行う、行動を早くするなど、チーム力向上を目指して取り組んでいます。理想のチーム像としては、「何事にも一生懸命取り組み、礼儀正しく、みんなで協力し合うチーム」です。地区総体の目標は先輩方のように、団体、個人共に県総体出場です。個人戦、全ペア初戦突破もチームとしての目標です。そのために、みんなで協力し、声を掛け合う。素早く行動し、積極的に動く。一球一球を大切に。練習に集中し、一生懸命プレーすることに取り組んでいます。私は、キャプテンとして、優しく声を掛けたり、チームをまとめるために明確に指示を出し、みんなが楽しい雰囲気の中で、練習し、大会に臨めるように努めます。

第16代女子ソフトテニス部キャプテン 3年

肝属地区中学校総合体育大会(通称地区総体。県総体予選を兼ねる)が6月13日(火)~15日(木)にかけて開催されます。本年度からこの地区総体や県総体に学校の部活動だけでなく、県中学校体育連盟が総体への参加を認めたクラブチームも出場します。ちなみに、それに該当するクラブで、地区総体等に本校生徒が参加する競技は、ソフトボール、サッカー、バドミントンの各競技です。本校生どうしが、県大会出場をかけて、試合をする可能性もあるということになります。部活動生、クラブ生を含め、本校生徒への声援をよろしくお願いいたします。

今この季節に 春過ぎて 夏来るらし白妙の 衣ほしたり 天の香具山【持統天皇 万葉 巻1・28】

当時、香具山に白い衣を干すのは、初夏の風物詩だったそうです。持統天皇は、天武天皇のお后です。天武天皇の死後、しばらくして皇位につきました。天武天皇の遺志を受け継ぎ、大和三山を取り込んだ藤原京を造営し、飛鳥から遷都。また、大宝律令(法律)の制定にも力を注いだそうです。

自治会の方々へ(お願い)

錦江中学校校区の各自治会行事について、把握したいと考えております。下記のQRコードから回答していただければありがたいです。錦江中学校の電話、メールでも受け付けております。よろしくお願いいたします。

【QRコード】



錦江町立錦江中学校

TEL(0994)22-0009

FAX(0994)22-0406

Mail: kinko-jhs@town.kinko.kagoshima.jp